



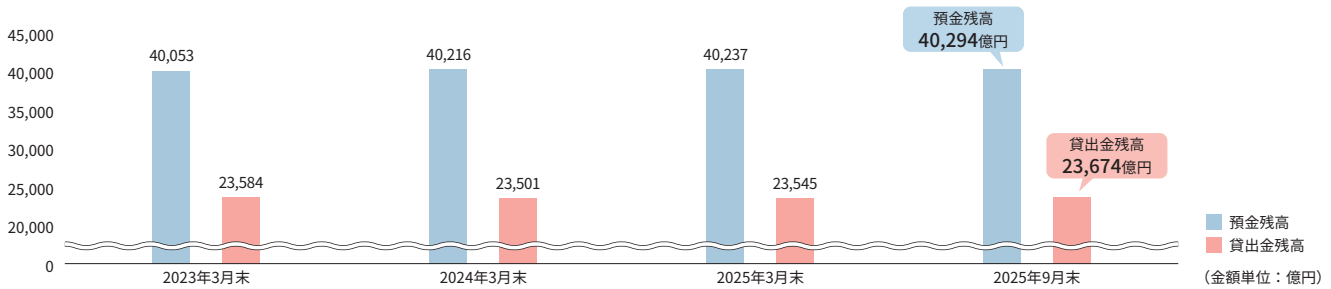
(2025年4月1日から9月30日までの6ヵ月間)

設立 / 1945年8月 会員/ 247,989名
出資総額 / 443億円 従業員/ 1,939名
本店 / 東京都品川区西五反田7-2-3
店舗 / 86店(うち有人出張所・インターネット支店1)

業績について

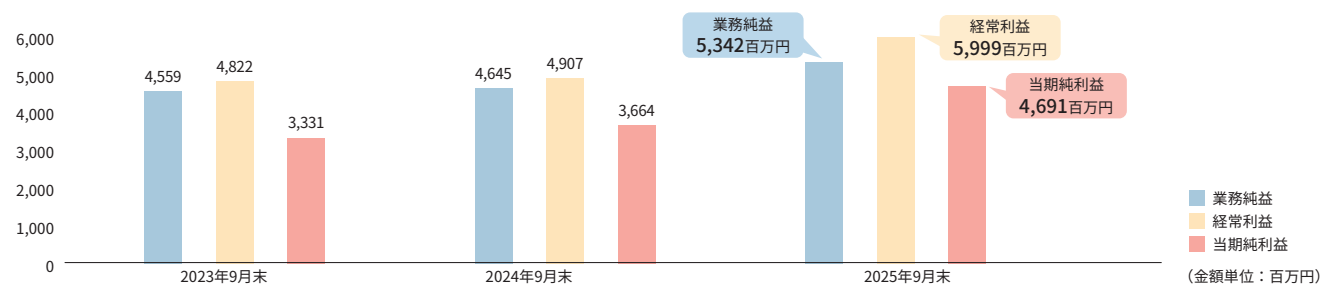
預 金 預金については、この半年間で57億円増加し、残高は4兆294億円となりました。

貸出金 貸出金については、お客様のお役に立つ融資の推進に取組んだ結果、この半年間で129億円増加し、残高は2兆3,674億円となりました。



収益について

収益については、本業からの利益である業務純益は53億42百万円、経常利益は59億99百万円、当期純利益は46億91百万円となりました。



自己資本比率について

2025年9月末の当金庫の自己資本比率は11.00%となり、国内基準である4%を大きく上回っており、当金庫の経営の健全性がわかりいただけると思います。

$$\text{自己資本比率} = \frac{1,891 \text{ 億円 (自己資本の額)}}{17,180 \text{ 億円 (リスク・アセット等の額の合計額)}} \times 100 = 11.00\%$$

有価証券の状況について

2025年9月末における有価証券の保有状況は次の通りです。
(金額単位：百万円)

	帳簿価額	時 価	評価差額
株 式	306	441	134
上場株式	87	222	134
非上場株式	189	189	0
子会社・子法人等株式	30	30	0
債 券	461,178	416,441	△44,737
国債	166,805	135,256	△31,549
地方債	124,307	115,172	△ 9,134
社債	170,065	166,013	△ 4,052
投資信託	—	—	—
外国証券	—	—	—
その他の証券(組合出資金)	542	542	0
合 計	462,027	417,424	△44,602

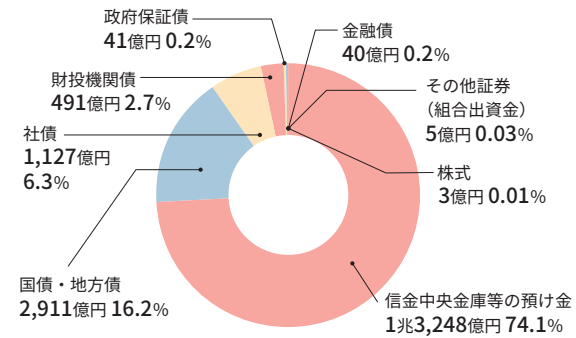
※評価差額は、市場金利の上昇による影響を受けていますが、保有する国債や地方債など、国内債券によるものであり、リスクの高い有価証券の保有はございません。

※評価差額の中には満期保有目的の債券に係るものも含まれています。

余裕資金の運用について

貸出金以外の運用については、信金中央金庫等の預け金がほとんどであり、リスクの少ない安全な運用に徹しています。

詳細については、以下のグラフの通りです。



債務者区分別貸出先数・貸出金残高等、分類貸出金

当金庫では、全貸出先について自己査定を実施していますが、自己査定にあたっては、まず債務者の財務や経営実態に応じて、正常先から破綻先までの5段階に債務者区分を行います。その結果が次の「債務者区分別貸出先数・貸出金残高等」です。

債務者区分別貸出先数・貸出金残高等			(金額単位：億円)
		先 数	金 額(構成比)
正 常 先	業況が良好で、財務内容にも問題のない先	41,980	15,620 (66.0%)
要 注 意 先	今後の管理に注意を要する先	8,444	7,229 (30.5%)
内 訳A	貸出条件緩和債権がなく、かつ期限経過・延滞が1ヵ月未満の先	8,416	7,151 (30.2%)
B	貸出条件緩和債権があり、かつ期限経過・延滞が1ヵ月未満の先	22	45 (0.2%)
C	期限経過・延滞が1ヵ月以上3ヵ月未満の先、ならびに要管理先のうち、無保全額が多額で、将来においてリスクの発生する可能性が高く、個別に引当を行うことが望ましい先	6	33 (0.1%)
破綻懸念先	事業は継続しているものの、今後、経営破綻に陥る可能性がある先	1,725	696 (2.9%)
実質破綻先	実質的に経営破綻の状況に陥っている先	206	50 (0.2%)
破 綻 先	法的・形式的に経営破綻の事実が発生している先	62	13 (0.1%)
国・地方公共団体(回収について危険性がなく、債務者区分を行っていません)		2	66 (0.3%)
合 計		52,419	23,677 (100.0%)

次に、債務者区分毎に、担保・保証等による債権回収の可能性を精査して、貸出金をⅠ(非)分類からⅣ分類までの4つのランクに分類します。その結果が次の「分類貸出金」です。

分類貸出金			(金額単位：億円)
	金 額(構成比)	償却・引当予定額	
Ⅰ(非)分類 回収について問題のない貸出金	18,395 (77.7%)		
Ⅱ分類 回収について注意を要する貸出金	5,281 (22.3%)		
Ⅲ分類 回収について重大な懸念がある貸出金	0 (0.0%)	0	
Ⅳ分類 回収不能と判定される貸出金	0 (0.0%)	0	
合 計	23,677 (100.0%)	0	

※2024年度以前に引当てした貸出金はⅠ(非)分類となっています。
※Ⅲ分類、Ⅳ分類の貸出金は2025年4月1日から2025年9月末までに発生したものを計上しています。

2025年9月末現在、Ⅲ分類、Ⅳ分類の貸出金は合計0.4億円ありますが、これについては、決算時に全て償却・引当処理し、当金庫の不良債権は実質ゼロとなる見込みです。

なお、分類貸出金については、法律で開示が義務付けられていないため、開示していない金融機関がありますが、当金庫は、経営内容をガラス張りにして開示する観点から自主的に開示しています。

信用金庫法及び金融再生法に基づく開示債権区分

「信用金庫法及び金融再生法に基づく開示債権区分」は次の通りです。このうち、「危険債権」と「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の無保全額については、引続き回収に鋭意取り組んでまいります。万一、年度末までに回収できない場合は、決算時に全て償却・引当処理する見込みです。

(金額単位：億円)			
	金 額(構成比)	うち無保全額	償却・引当予定額
正常債権	22,887 (96.6%)		
要管理債権	42 (0.2%)		
3ヵ月以上延滞債権	－ (－%)		
貸出条件緩和債権	42 (0.2%)		
危険債権	697 (2.9%)	0	0
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	64 (0.3%)	0	0
合 計	23,690 (100.0%)	0	0

※「金額(構成比)」は、単位未満を四捨五入しています。
※預金担保貸出金は、要管理債権には該当しないため、要管理債権から除外しています。

(注) 各計数は、原則として単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。

第63回懸賞金付き定期預金「スーパードリーム」の募集を開始しました。

当金庫は、2025年10月1日（水）、第63回懸賞金付き定期預金「スーパードリーム」の募集を開始しました。

懸賞金付き定期預金「スーパードリーム」は、10万円を1口として1本の抽選権を付けた、個人のお客様を対象とした1年ものの定期預金です。

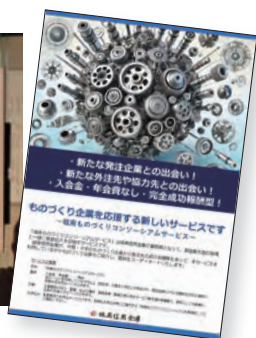
1994年の取扱開始から長年にわたり地域の皆様からご好評いただいています。

第63回では、多くのお客様に高額当選の喜びを感じていただけるよう、1等賞10万円の当選本数を、第62回と比較して2倍に増加させました。



城南ものづくりコンソーシアムサービスが堅調にスタート

2025年4月に始まった新サービス「城南ものづくりコンソーシアムサービス」は、参加企業が130を超え、堅調に推移しています。このサービスには外部から16件の発注案件があり、内2件が成約しました。参加をご希望の方はお取引店舗までお問い合わせください。



創業支援イベント ～ Small Biz コネクト～を開催

創業間もない企業が来場者に向けて自社のサービス・プロダクトを発表し、ビジネスマッチングにつなげるイベントを開催しました。創業者ならではの情熱と柔軟な発想に来場者が共感し、多くの出会いを創出する場となりました。



日本中から500社を超える
「モノづくり・食品」関連企業が集まる！

2025“よい仕事おこし”フェア



全国47都道府県から約180の食品関係の事業者、また、モノづくりや地方自治体・団体なども出展し、500社を超える出展者が集う展示商談会！
新たな発見や出会いが生まれる“よい仕事おこし”フェアへ是非ご来場ください！！

食品

- ①菓子
- ②加工食品・飲料
- ③地域特産

モノづくり

- ①機械金属
- ②環境・暮らし・医療
- ③ものづくり全般

地域連携 各都道府県の自治体／各種団体等

入場無料
2025年 11/26 (水) 10:00 ~ 17:00
11/27 (木) 10:00 ~ 16:00

会場 東京ビッグサイト 南3・4ホール
特設サイトはこちらから！

「よい仕事おこし」フェア 実行委員会事務局

お問合せ先 TEL.03-3493-8130 (受付時間：平日 9:00～17:00)
E-mail. yoishigoto-fair@jsbank.co.jp



城南信用金庫

〒141-8710 東京都品川区西五反田7-2-3

TEL. 03 (3493) 8111 (代表) <https://www.jsbank.co.jp>

